

6月は環境月間です！

「コウノトリの野生復帰をめざして」
～平成17年秋コウノトリは試験放鳥される予定です～

パネル展示の開催について

趣 旨

6月の環境月間では、事業者及び国民に環境保全についての関心と理解を深めてもらうことを目的に、国、地方公共団体等において各種の催し等が毎年、実施されています。今年度、近畿地方整備局では、兵庫県・豊岡市において平成17年秋に試験放鳥を予定しているコウノトリに関するパネル展示を開催します。

かつては人々と共存していたコウノトリは、昭和46年、兵庫県但馬地方を最後に日本の大空から姿を消してしまいました。現在、兵庫県や豊岡市、地元のNPOの人々を中心に、人と自然の共生できる地域の創造をめざしコウノトリの野生復帰を推進しており、平成17年秋には試験放鳥も予定しています。また、近畿地方整備局においてもコウノトリの住みやすい環境の再生を目指すため、湿地の保全・再生や河川・水路・水田に連続性を持たせるなど、円山川の自然再生に取り組んでいます。

今回のパネル展示は、これらの保護、増殖に向けての取り組みをはじめ、コウノトリの生態や歴史等を紹介することにより人と自然の共生できる環境づくりに向けて、普及啓発を行うことを目的としています。

開催概要

- 開催期間 平成17年6月15日(水)～6月30日(木) <最終日は午前中のみ>
- 開催場所 大阪梅田 曽根崎ジオフロント 地下遊歩道「そねちか」
(国道2号地下歩道内、JR北新地駅東改札東側)
- 展示内容 コウノトリの生態、歴史や保護、増殖に向けての取り組み等のパネル(約80点)
- 主 催 国土交通省近畿地方整備局
- 協 力 兵庫県立コウノトリの郷公園

《コウノトリ保護・増殖の歴史》

